

### 「森林・林業社会貢献活動 局長感謝状贈呈式」

〔総務課〕平成二十二年三月十一日、中部森林管理局で平成二十一年一月から平成二十一年十二月までの一年間において、災害時における防災ボランティア活動や国土緑化推進等を通じた森林づくり活動、地域の奉仕活動等における地域連携・社会貢献活動などに進んで携わっていただいた企業、団体の中で、特に顕著な功績のあった九企業及び六団体に局長から感謝状の贈呈を行いました。

台風通過後の安全パトロールや歩道の整備、ゴミ拾い等の清掃活動などを行った二十団体、一七三企業から実績の提出があり、審査の結果次の団体・企業に局長感謝状が贈呈されました。  
受賞者は次のとおり

#### ◇森林づくり活動部門

名古屋林業土木協会付知支部

名古屋林業土木協会中津川支部

有限会社つち創工社

付知土建株式会社

株式会社杉田組

#### ◇防災ボランティア活動部門

名古屋林業土木協会

名古屋林業土木協会古川支部

有限会社共和土木

三留野土建株式会社

株式会社青木組

#### ◇地域連携・社会貢献部門

木曾の自然を愛する会

名古屋林業土木協会愛知支部

尾澤建設株式会社

株式会社加藤工務店

有限会社共和土木



局長感謝状を贈呈されたみなさん

### 平成二十一年度 国有林モニター会議の開催

〔企画調整室〕二月二十五日、国有林モニター会議を中信森林管理署において開催しました。

国有林モニター会議とは、幅広い国民の皆さまの声を聴きし、開かれた「国民の森林」にふさわしい国有林野の管理経営を推進するため、平成十六年度から

進めている取組です。

会議には、全三十名のうち管内一円からお集まりいただいた九名のモニターの皆さんと、当局から計画部長、森林整備部長、中信署長等が出席しました。

午前中は、松本市アルプス公園から、絶好の天気の中、北アルプス等を望みながら、中信署長より国有林野分布や地域での取組についての説明を行いました。モニターの皆さんからは、「森林限界を超えたアルプスの頂上まで林野庁が管理しているんだ」など驚きの声もあがっていました。

また、木材利用推進の事例として長野県森林組合連合会 中信木材センターにおいて県産材を利用した建物や木材を販売する市場を見学しました。「この建物の木材は全て地元材を利用している」と説明を受け、モニターの皆さんから感嘆の声が上がっていました。

午後は、場所を「中信署会議室」へ移し中部局、中信署の事業概要等を説明し、その後、事前に聴取したモニターの皆さんからのご意見やご質問にお答えし、また、意見交換を行いました。

モニターの皆さんからは、「一般の者が国有林を利用する制度をより進めてほしい」「ニホンジカによる被害等の森林被害への対策の難しさが解った」「民有林の手入れの参考にしたい」等様々な意見が出され、活発な会議となりました。この会議でいただいた貴重な意見を参



モニターとの意見交換会の様子

### 国有林の森林計画づくりに おける懇談会を開催

〔計画課〕二月二十日と二十八日に、良川森林計画区内（岐阜署）の岐阜県郡上市と尾張西三河森林計画区内（愛知所）の瀬戸市において、地域住民の方々と地域の国有林について情報や意見交換を行う「懇談会」を開催しました。

これは、昨年度からの取組で、国有林の森林計画づくりに先立ち広く地域の情報や意見を聴くためのものです。尾張西三河森林計画区では、瀬戸国有林（定光寺自然休養林）で間伐実行箇所やレクリエーション施設の見学会とあわせて行いました。

懇談会では、森林計画区の概要や国有林において日頃取り組んでいる話題提供を行い、参加者の皆さんから国有林への



現地見学会の様子（尾張西三河森林計画区）

関心や期待、情報についてのお話を伺いながら意見交換を行いました。計画区によりそれぞれ特徴がありますが、参加者の皆さんからは、「国有林では、複層林への転換を図り、保水力の高い森林を目指していることは良いことだ」、「自然休養林は、学校教育の一環としてインタープリターが案内するなどの取組を行って欲しい」、「今回の懇談会のような話し合いをもったことはすばらしい。このような情報交換できる機会をもっと作っていただきたい」等の意見が出ました。

この二地区のほか、昨年十月には中部山岳森林計画区（中信・木曽署）において同様の会を開催しています。

今後とも、このような取組を継続し、地域の皆さんとの繋がりを深めるとともに、地域の情報を森林計画に反映していきたいと考えています。

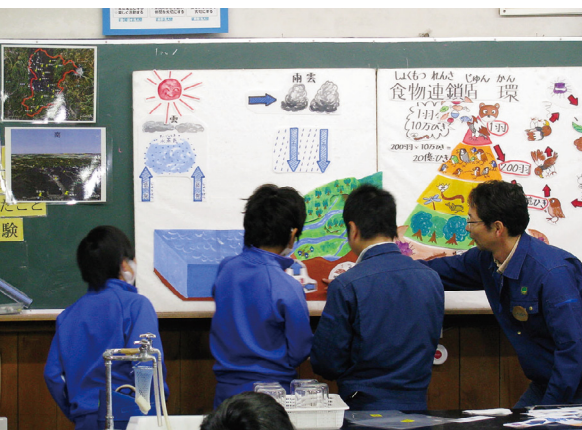
### 出前授業終了

「岐阜署」三学期も中盤が過ぎ、各小学校では進級・進学に向けて各種行事が行われる中、今年度の下呂市内小学校における出前授業が二月十七日終了しました。

この出前授業は下呂市教育委員会より、下呂ロータリークラブを通じ、森林について授業をしてもらいたいと依頼があり四、六年生を対象に実施しているものです。

初めての授業の時は、少し難しい言葉で話をしてしまったため、子供達が理解できないこともあり、学校の先生に助けを求めるなどしましたが、その後、子供達に合わせた言葉を使って授業を行った結果、理解も早く、小学校からも高い評価を受けています。

今年度は、今年六月に岐阜県において



循環の説明で手伝いをする児童

「全国豊かな海づくり大会」が開催されることもあり、「森林」と「海」との繋がり（循環）についての授業を中心に、実験や工作を行うなどしており、一単元（四十五分）ではもったいないとの声が聞こえる中、子供達に「森林」に興味を持ち、理解して、そして「緑」の応援団になってもう目標については、達成できなかったのではないかと思います。

なお、今年度の下呂市内小学校の出前授業は五月二十日～二月十七日の期間、十二校で行い、児童、教職員合わせて四〇〇名以上が授業を受けています。

## シリーズ 現場最前線

### 災害に強い山作り、災害のない 明るい職場作りを目指して

#### 「木曽森林管理署 瀬戸川・氷ヶ瀬班」

長野県木曽郡王滝村は、長野県の最西部に位置し、村内約二六、〇〇〇畝の国有林を王滝治山事業所、四森林事務所（瀬戸川、氷ヶ瀬、南滝越、北滝越）十七名で管理しています。

瀬戸川・氷ヶ瀬班は、王滝・御岳・樽沢国有林の約二、〇〇〇畝の



区域を管轄し、基幹作業職員四名で、霊峰御嶽山の山懐に抱かれた山深い中、春から秋は獣害対策、歩道修理、林道維持、境界巡検、調査、森林保全管理等、また冬は除伐・枝打などに二畝を超える笹覆地や岩石地等条件の厳しい中で作業を行っています。

このところの雨や春のような陽気で雪解けがかなり進んではいるものの、作業地には凍った箇所も残っており、毎朝のミーティングでは、足場足元に注意、上下接近作業の禁止、熊対策、通勤時の交通事故防止等を話し合い、緑十字の日に言う安全懇談会では、ヒヤリハットやその対策等を出し合い、活発な議論を行っています。

今後も災害に強い山作り、災害のない明るい職場作りを目指して、皆で一丸となって安全作業に取り組んでいきたいと考えています。

